

## 7月25日：VN指数は続伸（VN指数 +0.44%）

- 投資家の楽観姿勢は続き、VN指数は続伸で始まった。
- 午前中 1,200 ポイントに近づくと、キャッシュフローは減少し、値動きの荒い展開となった。
- 銀行株の VCB (+3.5%) と TCB (+3.2%) の上昇によって指数は上昇を維持した。一方、不動産株の VHM (-0.8%) と VIC (-1.0%) は相場を押し下げている。
- 午後に入り、堅調に上昇するもやはり 1,200 ポイントの節目は抜けられなかった。VN指数は 1,200 ポイントに触れると急落し、その後わずかに反転して引けた。
- 騰落別では幅広い銘柄が売られた。207 銘柄が上昇、250 銘柄が下落した。72 銘柄は変わらずだった。
- 午後に入りボラタイルな展開となったことで、売買代金は 20.1 兆ドンとまずまずの数字だった。

## VN30 指数も上昇（VN30 指数 +0.41%）

- 時価総額・流動性の大きい 30 銘柄で構成する VN30 指数は、13 銘柄が上昇、12 銘柄が下落、5 銘柄は変わらずだった。
- 銀行株以外では、SAB (+1.9%)、VNM (+1.2%)、VRE (+2.1%) などが上昇した。
- 一方、大きく下落したのは BCM (-1.5%)、GVR (-1.8%)、MWG (-1.7%) などが挙げられる。

## セクター・個別株の動き

- 前日にストップ安となり、本日も値動きの荒かったCTD (+0.4%) は債務の支払いが出来なかったことでCTDに破産を宣告するようにRiconsが要求したことが関連したと考えられている。本日、CTD側は健全な財務状態について報告したことで、買い戻しが入った。
- CEO (+3.9%) は200ヘクタール規模の工業団地のM&A計画を株主総会で明らかにしたことで買われた。
- 外国人投資家は売り買い拮抗していた。VNM (+1.2%) とMSB (-0.7%) が売られていた。一方、HPG (+0.0%) には買いが入った。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。